

春暖の候、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年末には教育活動アンケートにご回答をいただきありがとうございました。子どもへの生活調査と職員の振り返り等を合わせて分析をした評価結果と学校評議員の方々によります学校関係者評価の結果を報告させていただきます。来年度の取組にしっかりと生かしていきたいと思っております。

A…そう思う B…どちらかと言えばそう思う C…どちらかと言えばそう思わない D…そう思わない E…わからない

項目	質問番号	質問内容	A	B	C	D	E	関連する主な事柄
開かれた学校づくり	①	学校は、教育方針や教育活動の様子を分かりやすく伝えている。	44%	50%	3%	3%	0%	学校だより・学年通信、ホームページ、新聞記事掲載
	②	学校は、保護者や地域の人が子どもたちの様子を知る機会を設けている。	58%	41%	1%	0%	0%	授業参観、運動会(地域参加プログラムの導入)、音楽会、オープンスクール
信頼される学校づくり	③	学校は、保護者からの問い合わせや訪問に対して、ていねいに対応している。	52%	40%	2%	4%	2%	職員の電話対応や接遇
	④	学校は、保護者や地域の声を教育活動に生かそうと努めている。	41%	49%	6%	2%	2%	P T A委員会、教育活動アンケート、学校評議員会
学習環境づくり	⑤	学校は、校舎内外をきれいし、落ち着いた学習環境の整備に努めている。	52%	44%	3%	1%	0%	校内の掲示、校舎内外の様子、清掃活動、奉仕作業
学力の向上	⑥	学校は、子どもたちに基礎的な学力が身につくように努めている。	44%	48%	4%	2%	2%	朝の学習タイム、複数の教師によるきめ細かな授業の推進、「勉強の仕方7つの約束」の指導、家庭学習の手引き、わくわく学級、英語教育支援事業
	⑦	学校は、子どもたちに学習の習慣を身につけさせるとともに、学習意欲を高めようとしている。	40%	48%	7%	3%	2%	
道徳教育や人権教育の充実	⑧	学校は、生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てることに努めている。	47%	46%	3%	1%	3%	道徳参観・人権学習、広島平和学習、福祉教育(手話・アイマスク・リハビリテーションセンターとの交流)、ふれあい学級、アンケート等によるいじめの早期発見・対応
	⑨	学校は、子ども一人一人を大切に、いじめのない仲間づくりに努めている。	40%	46%	7%	1%	6%	
生活指導	⑩	子どもは、家族や友だち、地域の人々に進んであいさつをしている。	44%	39%	12%	3%	2%	「ほんだっ子10の約束」の指導、あいさつ運動、連絡メールシステムの活用、連絡帳の活用、教育相談、サポートルーム、家庭訪問、生活アンケート
	⑪	子どもは、楽しく登校している。	58%	37%	4%	1%	0%	
	⑫	学校は、子どもや保護者との連絡や相談に適切に対応している。	50%	37%	10%	2%	1%	
健康教育安全指導	⑬	学校は、子どもが安全で健やかな生活を送れるよう努めている。	57%	38%	1%	3%	1%	避難・防災訓練、見守りボランティア事業、保健室だより、歯磨き指導、スポーツ活動(陸上、スポーツ少年団)
郷土愛・地域との連携	⑭	学校は、地域に対する誇りや愛着を育てよう努めている。	51%	42%	3%	2%	2%	ふるさと大好き事業(ウォークラリー、太鼓づくり、校区探検等)、スポーツクラブ21菅田、菅田公民館、菅隣保館等との連携
	⑮	学校は、地域の関係団体・施設や地域の方々との連携・交流を積極的に進めている。	55%	40%	3%	0%	2%	

### 【結果と考察】

質問番号	分析結果と改善方策
①	A・Bと回答された方を合わせると、この3年間91%、96%、94%と高く評価されています。「菅田小だより」や随時出される学級通信、学校ホームページで日々の児童の学習や生活の様子をお知らせすることで、教育活動を地域や保護者の方に知っていただくことができました。来年度も、「菅田小だより」や学級通信、ホームページにより、教育活動をより分かりやすく伝えていきます。
②	A・Bと回答された方を合わせると、この3年間97%、97%、99%と高く評価されています。運動会、音楽会をはじめ、年4回の授業参観、オープンスクール、ウォークラリーや菅隣保館まつりへの参加で、保護者や地域の方に児童の様子を見ていただきました。各行事へも改善内容を含め、たくさんの感想をいただきました。来年度も、内容に検討を加えながら、児童の様子を知っていただく機会を大切にしていきます。
③	本年度もA・Bの回答が90%を超えています。しかし、Dは1%から4%に増えています。この結果をしっかりと受け止め、電話での問い合わせや学校への訪問に対して、ていねいに、素早く、適切な対応を行えるよう、職員の共通理解の徹底を図っていきます。今後も、保護者や地域の人々の意見・要望等に対しては、全ての教職員がていねいな対応に努め、開かれた学校、信頼される学校づくりに努めていきます。
④	A・Bと回答された方を合わせると、2年連続で90%を超えています。今年も活動の成果を感じました。ただアンケートの記述欄には、教職員や教育活動に対する要望はもちろんのこと、P T A会員数の減少に合わせたP T A活動の見直しや、子ども会活動の見直しを進めるべきだとの意見も少なからず寄せられており、P T A、子ども会とも連携して改善を図っていく所存です。今後も皆様から頂いたご意見を真摯に受け止め、各関連団体と連携を図りながら、家庭や地域の声を生かすことができるよう取り組んでいきます。

⑤	A・Bと回答された方は、96%となっています。本校では、玄関に花をかざったり、運動場の花壇には季節に合った花を植えたりしています。夏休みにはPTAの協力による奉仕作業で、校舎内外の環境も整えていただきました。また、毎日清掃を行い、教室環境においても、掲示物の貼り方や持ち物の整理整頓などにも気をつけています。本校は、校地や施設の広さに対して、以前に比べて児童数や職員数が減少し、環境整備に利用できる予算も限られた中ではありますが、これからも日々の清掃活動や環境美化に力を入れるとともに、学校施設、教育環境の維持管理に努めていきます。
⑥	A・Bと回答された方は本年度も90%を超えています。本校は、「確かな学力の確立のため、知識・技能の習得を図り、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成し、学びに向かう力・人間性の涵養を図る」ことに重点をおき、取組をすすめてきました。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業研究も推進しています。今後も、学習・指導方法について研修を深め、一人一人の確かな学力の確立をめざして取り組んでいきます。
⑦	「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答された方が昨年度から5%下がって88%となっています。この結果を受け止め、基本的学習習慣の確立のため、「朝の学習タイム」の充実や「勉強の仕方7つの約束」の指導の徹底に努めたり、「家庭学習の手引き」を家庭で有効活用したりできるよう、取組を進めていきます。そしてまた、児童が意欲的に学習に取り組めるよう授業改善や教材研究に励むとともに教育機器の効果的な活用にも努めていきます。
⑧	A・Bと回答された方を合わせると93%でした。学校では、道徳教育や人権教育を中心に、しっかりとした規範意識を培い、他人を思いやる心を育てていこうと考えています。今年度も、子どもたちから募集した人権標語を廊下に掲示し、日常生活の中でも人権を意識するよう取り組んでいます。また、地域教材を扱った授業を引き継ぎ、学校内で公開することで、全職員が共通理解し、見通しをもって系統的に人権学習ができるよう取り組みました。今年度から「特別の教科道徳」が始まり、通知表には記述式の評価も入るようになりました。今後も道徳教育の充実に向けて研修を深めていきます。
⑨	A・Bと回答された方を合わせると、ここ2年、87%、86%です。本校では、道徳・人権学習はもちろんのこと、「縦割り班活動」等、学校生活の色々な場面を通して、仲間づくりに努めています。そして、子どもたちが気軽に相談や学習にきて、心休める場所となるように設置しているサポートルームで、スクールカウンセラーによる相談も定期的に行えるようにしています。また、月に1回、日頃の悩みを気軽に書けるように配慮しながら「心の健康カード」を書く機会を設けています。それをもとに、気になる児童に声をかけたり聞き取りをする中で、個別の指導をおこなったり、家庭と連絡を取り合ったりしています。今後も、家庭と協力しながら「いじめは許さない」姿勢で指導を行います。
⑩	A・Bと回答された方は昨年の91%から83%と減っています。本校ではここ数年、登校時に校門に6年生が交代しながら立って、あいさつ運動をしています。また、一斉下校や児童朝会などで機会を捉えて、指導を行っています。しかし、今年度の評価は低下しているということで、今一度教師も児童も気持ちのよいあいさつについて見直す良い機会となると考えます。道徳科の学習や、学級活動の時間などで折に触れ、あいさつの大切さについて取り上げていくとともに、地域の方からいただくお褒めの言葉やご意見を子どもたちに適宜紹介し、あいさつをして気持ちよかったという実感が得られるようにしていきます。
⑪	A・Bと回答された方を合わせると95%でした。児童アンケートにおいても、92%の児童が、学校が「とても楽しい」「楽しい」と回答しています。多くの児童は、毎日楽しく登校しています。一方で、C・Dと回答した方もいらっしゃるため、今後もさらに、全教職員で児童への声かけ（頑張りを認めたり褒めたりする）や友だち関係の観察、児童理解研修の充実を図るなどして、児童の内面的な理解や課題の解決に努めていきます。
⑫	A・Bと回答された方は昨年の95%から87%と減っています。保護者からの相談を受けた場合は、必要に応じて全教職員で問題点を共通理解し、早期解決できるよう努力しました。個別懇談は、1学期末に全児童保護者と、2学期末に希望者を対象として行い、普段の悩みなどを話せる場となるようにしました。児童の様子で気になることがあった場合は、その日のうちに連絡帳や電話、家庭訪問等で連絡を行っています。しかし、保護者からはそれ以上の期待を寄せられているということを認識する必要があります。今後も、子どもたちの何気ないことでも話ができるような雰囲気づくりをし、家庭との連携方法を工夫するなどのきめ細やかな対応に努めていきます。
⑬	A・Bと回答された方を合わせると、95%と高い評価を得ています。安全・安心の取組としては、引き渡し訓練、火災・地震を想定した避難訓練などを実施しています。訓練の時間帯を授業中、休憩時間などさまざまな時間帯に設定し、児童自身が自分で考え判断し行動できることをねらいとして取り組みました。また、今年度は地区懇談会でアース隊員による防災や減災についての講習会を実施しました。見守りボランティアにおいては、PTAや地域の方々のご協力により、登下校を中心に児童の安全を見守って頂いています。保健指導では、歯科衛生士によるブラッシング指導を全学年で行っています。また、給食後の歯みがきを呼びかけるなど、児童の健康面に関する取組にも力を入れています。陸上やスポーツ少年団活動の指導にも積極的に取り組んでいます。
⑭	A・Bと回答された方を合わせると93%です。地域の方々の協力を得て実施している校区探検、皮革工場見学、革細工、豆腐づくりなどのふるさと体験活動は、地域の様子や産業のことをさらに知るとともに、地域の方々が素晴らしい技術をもち、熱い思いで仕事をされていることを感じるすることができます。誉隣保館まつりでは人権学習の発表を各学年ごとに行っています。また、自治会やPTAの全面的なご支援のもと毎年実施している広島平和学習は、戦争の悲惨さ、平和の大切さを肌で感じる事ができる誉田ならではの活動です。そして、スポーツクラブ21にお世話になっているウォークラリーでは、誉田町のいろいろな地区をめぐるながら名所・古跡を学ぶことができ、非常に意義あるものになっています。誉田町のことを誇りに思う児童を育てるために、今後も地域と連携しながら教育活動をしていきます。
⑮	A・Bと回答された方を合わせると95%です。幼稚園や保育所とはスムーズな園・所・学校間の接続に向け日頃より交流を行っています。子ども会や青少協、民推協とは連携を密に図りながら各種事業に取り組んでいます。そして婦人会の方にはPTA参観日等にあずかり保育を実施していただき、老人クラブの方には、ふれあい学級でペタンク教室を開いていただいています。また民生・児童委員さんとは情報交換会を年3回定期的に行い、情報を共有しながら子育て支援に努めています。誉田公民館や誉隣保館は「誉田チャレンジ隊」や「ふれあい学級」の実施を通して子どもたちの体験活動、地域の方とのふれあいをより豊かなものにしていただいています。これからも地域の関係団体・施設や地域の方々との連携・交流を積極的に進めながら、子どもたちの体験活動や学びの充実、健全育成に努めていきます。

**【学校関係者評価】**（自治会、婦人会、老人クラブ、PTA、民生委員 各代表からのご意見 主なもの）

○学校は様々な取組をしっかりとやっている。 ○新学習指導要領に向けた学校の工夫や取組がなされている。 ○子どもたち一人一人が輝けるようにしようとしてくれているのがありがたい。 ○行事は、広島平和学習やスキー教室などいろいろな面で充実している。 ○いろいろな地域らしさが現れた行事が多くて大変だけど、変化に富んでいて良い。 ○子どもたちが楽しそうに登校している。 ○挨拶をよくする地区としない地区がある。また、しない子の背景に何があるのか見ていくことも大事。 ○朝の立ち番で「ありがとう」と言われたのがとてもうれしかった。 ○朝の立ち番も、顔見知りになれば声を掛け合うことができるようになる。やはり続けていくことが大事。 ○接続期の交流では、小学生から声をかけてくれるので、園児たちも安心感を持っている。 ○新しい学習や行事が増え、先生の負担が減らないので大変だ。 ○学校の維持管理に関する業務量が多い。先生方の力をもっと子どもたちに向けられるようにできないか。 ○ホームページの更新が何度もされているのが良い。 ○参観日やオープンスクールなどで、保護者の声がうるさかったり、ガムをかんでいたりもする。保護者の願いとともに教師の願いも学校だより等で発信していけばよい。 ○情報はタイムリーに、ホットなうちに発信する努力を。